

ふれあい看護体験が終わりました。

平成 28 年 7 月 21 日～8 月 31 日の期間で、36 病院のご協力を受け、ふれあい看護体験を実施いたしました。

ご協力をいただいた病院のうち、27 病院で 197 名の方が看護体験をされました。参加者は 10 代から 40 代で高校生の参加が一番多く、社会人で看護職を目指す方も体験をされました。



体験をされた皆さんは、今まで知らなかった病院の裏側や、看護師の仕事の奥深さ、大変さ、優しさ、そして、病院の中で働く色々な職種の方とのチームワークで 1 人 1 人の患者さんに対応をしている姿を目の当たりにより一層看護師へのあこがれや、医療機関で働きたいという気持ちを強めて頂いたようです。



ご協力いただいた病院では、それぞれの病院の特性を活かし、手術室の見学や、分娩室の見学、採血の疑似体験や血圧測定その他、直接患者さんに足浴や手浴をさせていただくなど、趣向の凝らしたプログラムで受け入れていただきました。

参加者の感想

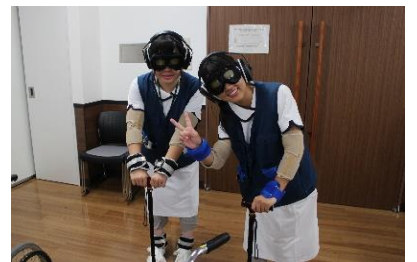
♥ふれあい看護体験に参加し、私は将来看護師になりたいと強く思いました。担当の方にも処置や患者さんその両親とのコミュニケーションが大事だとおそわり、看護職は奥が深いと思いました。又、自分にできることはあるかこの後どうすればよいかなど今回の体験で学ぶことができました。これから勉学にはげみ、希望の大学に入り今回教えてもらったことが生かせるように頑張ります。



♥ 看護師の仕事は、患者さんのサポートなどだけでなくベットシーツの交換など直接患者さんにかかわらないこともすることがわかった。病院が嫌などという患者さんもいたけど、そんな患者さんも笑顔にする看護師さんの姿を見て、私も笑顔にできるような看護師さんになりたいと思いました。

♥ 普段、見ることのできない場所などが見られて良かったです。でもとても疲れました。学校での生活がどれほど楽なのかが少し分かった気がしました。

♥ 看護師の仕事は想像以上にハードだということが分かりました。ただ単に患者さんのお世話をするのではなく、いかに患者さんとうまくコミュニケーションをとるかという点で難しそうに感じました。周りのことや患者さんの異変にすぐに気付いてあげることで、少しでも痛みや苦しみを和らげることができるということを教わりました。私が今勉強以外にできることは、身近な人とのコミュニケーションを大切にすることだと思うので、まずはそこから実践していきます。



体験受け入れ病院の感想

☆参加者7名全員看護師志望でしたので、多くの分野を体験して頂けるように計画しました。参加者の感想から色々な体験ができて良かったと、大変好評でした。2日目に参加した高校生4名は全員違う学校で、学年もバラバラでしたが、すぐに打ち解けチームワーク良く積極的に参加しており、看護師としての資質を感じました。今回の体験で、参加者全員が看護師になりたいという気持ちが更に強くなったと言われており、夏休み期間に2日間の受入は大変でしたが、未来の看護師確保に繋がる大切な事業であると、再確認いたしました。



☆若い方が看護や医療に関心を持って頂いたり、将来像を具体的にできる機会になっていることを接する中から感じます。臨床の看護職も自分たちの日々の看護を語ることで、日常を振り返るよい機会になっています。



☆看護師と一緒に清拭をしたり、配薬準備をしたり、回診等により患者さんと直に接することができ、看護師の仕事ですこし理解してもらえたのではないかと思います。初めはかなり緊張していましたが、終わったあとはすごくいい笑顔でしたのと、アンケートには看護師になる気持ちが強くなったと記入されており、ふれあい看護体験に来ていただき良かったと思います。

☆「看護職・医療関係の仕事に興味があり、看護師を実際に体験したい」という志望動機を見て、限られた時間の中で少しでも多くの体験をさせてあげたいという思いで、担当者一同取り組みました。参加者の感想で、「いつもとは違う角度から病院を見ることができてよかった」「思っていた以上にいろいろな体験ができてよかった」「看護師の働く場が様々あることを知ることができた」「看護師の声かけで不安が解消された」などがあり、色々なことを感じてくれたのだろうとうれしく思いました。私たちも、将来を考えていたころの原点を思い出すことができました。一人でも多く看護師に就いてもらいたいと願うとともに、私たちにとっても貴重な体験になったと思います。



1人でも多くの参加者が、看護職を目指し、奈良県内医療福祉施設で働いてくれることを願っています。